情報理工学部 SN コース 2 回 セキュリティ・ネットワーク学実験 2 NW 実験 2-3 レポート

2600200443-6 Yamashita Kyohei 山下 恭平

November 17 2021

1 概要

自宅のネットワーク環境、および学内ネットワーク環境それぞれで、指定されたアドレスへ ping コマンドを使用し、その結果を表にまとめ、結果の違いについて考察する。

2 結果

表 1 学内

コンピュータの種類	ホスト名または IP アドレス	応答
立命館大学 web サイト	www.ritsumei.ac.jp	なし
情報理工学部実験用サーバ	172.25.11.22	平均 RTT:5.636ms
実験室内の別 PC	172.27.74.63	なし
BKC の DNS サーバ	172.24.32.1	平均 RTT:5.915ms
衣笠の DNS サーバ	133.19.222.4	平均 RTT:5.470ms
OIC の DNS サーバ	172.23.0.1	平均 RTT90.403ms
立命館慶祥高校の DNS サーバ	172.20.2.7	平均 RTT:28.768ms

表 2 自宅

コンピュータの種類	ホスト名または IP アドレス	応答
立命館大学 web サイト	www.ritsumei.ac.jp	なし
情報理工学部実験用サーバ	172.25.11.22	なし
実験室内の別 PC	172.27.74.63	なし
BKC の DNS サーバ	172.24.32.1	なし
衣笠の DNS サーバ	133.19.222.4	なし
OIC の DNS サーバ	172.23.0.1	なし
立命館慶祥高校の DNS サーバ	172.20.2.7	なし

3 考察

自宅でのネットワーク環境で行ったところ、全ての IP アドレスで応答せずにパケットロスが 100% となった。ここで、次に「google.com」へ ping コマンドを実行したところ、Google のサーバは応答し結果を返した。よって、今回の実験で全てのサーバが応答しなかったのは、学校の DNS サーバや実験室のサーバは学内 LAN 以外からのアクセスを拒否していることが考えられる。